

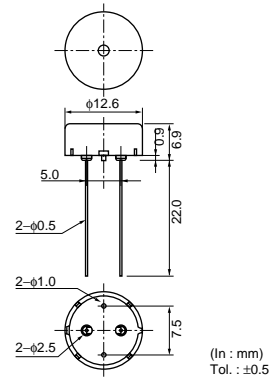
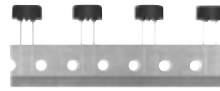
圧電発音部品

参考資料



圧電サウンド他励振 ピンタイプ テーピング対応品

ムラタ独自の構造設計と機械加工技術、そして実績ある自動挿入部品のノウハウをもとに、圧電サウンドのテーピングタイプを商品化しました。
 生産ラインの省力化、アッセンブルコストの削減にお役立てください。



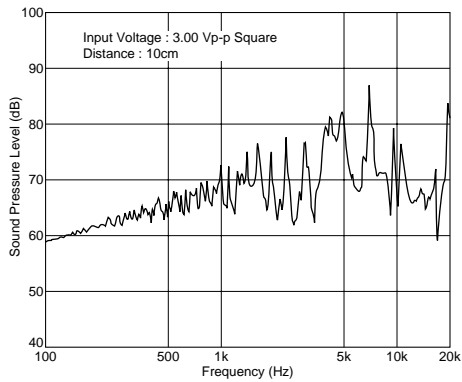
3

特長

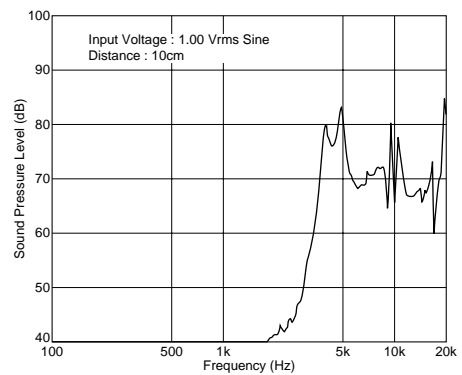
1. 丸リードによる端子カット時の信頼性が向上します。
2. 高度で安定した実装率が確保できます。
3. つづら折り梱包です。

品番	JEITA形名	音圧レベル (dB)	音圧レベル(参考値) (dB)	動作電圧範囲	静電容量 (nF)	使用温度範囲 ()	保存温度範囲 ()
PKM13EPYH4000-A0	PS-RP2-C13-40	70 以上 [3Vp-p,4kHz,方形波,10cm]	70 以上 [1Vrms,4kHz,正弦波,10cm]	30.0 Vp-p 以下	5.5 ± 30% [1kHz]	-40 ~ +85	-40 ~ +85

周波数レスポンス(3Vp-p方形波, 10cm)



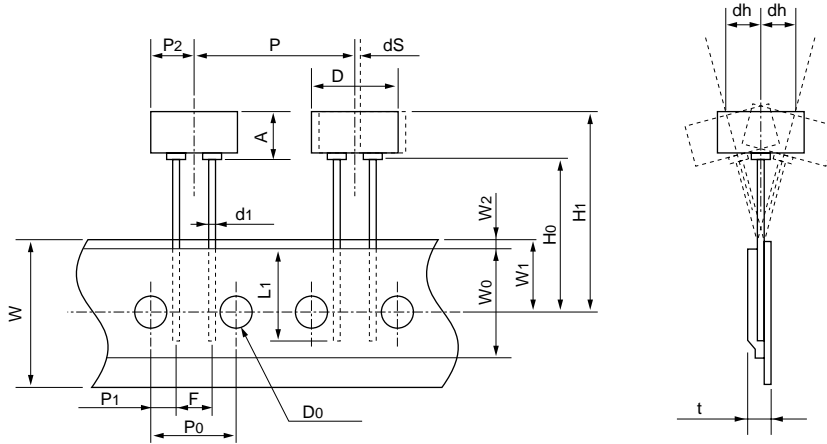
周波数レスポンス(1Vrms正弦波, 10cm)



次ページに続く

前ページより続く

テーピング寸法図



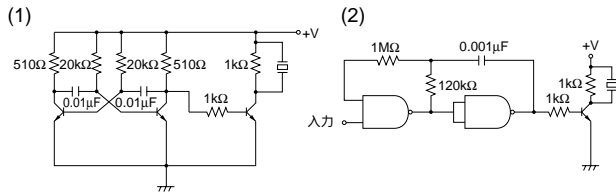
呼称	記号	公称値	許容差	備考
製品直径	D	φ12.6	±0.5	
製品高さ	A	6.9	±0.5	
端子直径	d1	φ0.5	±0.1	
貼り付け端子長さ	L1	8.0 min.	-	
製品間ピッチ	P	25.4	±0.5	
送り穴ピッチ	P0	12.7	±0.2	累積ピッチ誤差は 10 × P0 = 127 ± 2mm
製品貼り付け位置ズレ	P1	3.85	±0.7	
製品貼り付け位置ズレ	P2	6.35	±0.7	
端子ピッチ	F	5.0	±0.5	
製品倒れ	dh	0	±1.0	360°で1mm以内
テープ幅	W	18.0	±0.5	
貼り付けテープ幅	W0	12.5 min.	-	貼り付けテープは台紙よりはみ出さないこと
送り穴位置ズレ	W1	9.0	±0.5	
貼り付けテープズレ	W2	2.0 max.	-	
端子ストッパー高さ	H0	18.0	±0.5	
製品上限位置	H1	26.0 max.	-	
送り穴径	D0	φ4.0	±0.2	
テープ総厚み	t	0.6	±0.2	
製品片寄り	dS	0	±1.0	

(in mm)

圧電サウンダ (他励振ピンタイプ テーピング対応品) 回路/使用上の注意

回路

他励振回路として(1) Tr使用非安定マルチバイブレーター(2) インバーターおよびNAND gate を用いた回路が代表的です。



3

使用上の注意 (実装上の注意)

1. はんだ条件

(1) こて付け条件

- (a) $+260 \pm 5$ の溶解はんだに端子の根元から 1.5mm の位置まで 10 ± 1.0 秒間浸した後、常温に取り出して 4 時間後に測定する。
- (b) リード部をはんだごて温度 $+350 \pm 5$ で 3.0 ± 0.5 秒間当て、常温に取り出して 4 時間後に測定する。

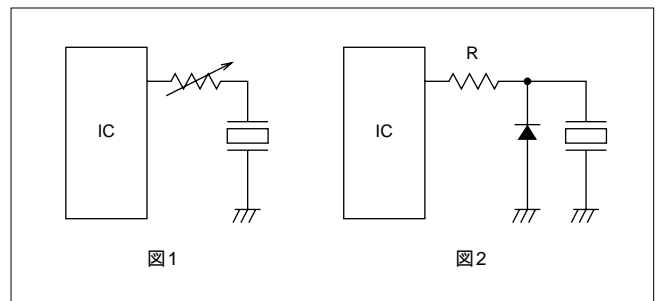
(2) リフロー条件

本製品はリフロー方式には対応できません。

- 2. 溶解はんだが本製品の端子根元に接触すると、樹脂ケースが溶解し、特性不良に至る可能性がありますので、両面スルーホール基板でのご使用は避けてください。
- 3. 本製品は密閉構造ではありませんので洗浄できません。

使用上の注意 (取り扱い上の注意)

- 1. 本体に規格以上の衝撃が印加された場合、不具合を生じることがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 2. 落下衝撃、熱衝撃によりサージ電圧が発生しますので、回路設計には十分ご注意ください。
- 3. 本体に直流電圧をかけるとシルバーマイグレーションが発生する恐れがありますので、直流電圧をかけないような回路設計を行ってください。
- 4. IC等により駆動する際、安定鳴動およびIC保護用にIC出力端と本体に直列抵抗約 $1 \sim 2k$ を挿入するか(図1) 本体と並列にダイオードを挿入して、ご使用ください(図2)。



- 5. リード線に必要以上の力を加えると、断線、はんだ点取れの原因となります。取り扱いには十分ご注意ください。